

新しい村魅力アッププラン（素案）ご意見と対応方針

資料2

照会対象：検討委員会委員、関係課
ご意見数：183

※誤字脱字や文言等に関するご意見は除いています。なお、計画書上はご指摘を踏まえて対応しています。

No	該当箇所	頁	ご意見	対応方針	意見元
計画書体裁・共通					
1	共通	-	・3行目の「株式会社新しい村」について、5月の自治体経営会議において実施主体は「指定管理者」をベースとの方向性となったが、株式会社新しい村とはされていない。そのため、実施主体名を限定して記載するのはいかがか。他の章における記載も同様。（現状説明の箇所は除く）	・ご指摘を踏まえ、「指定管理者」に表現を統一します。	町
2	目次前	-	・発行元の責任者のあいさつはいらないか。	・ご指摘を踏まえて追加します。	町
3	最後	-	・発行元の記載が必要ではないか。	・印刷デザインを行う際に、奥付もしくは裏表紙の中に発行元を記載する方針です。	町
第1章 本計画の位置づけ					
4	1. 本計画の背景と目的	2	・コロナを「追風」と表するのはいかがなものか。	・ご指摘を踏まえて、「追風」の表現を削除し、文章を修正しています。	町
5		2, 7	・「宮代らしい」とはどのような特色か示すべき。特に新しい村は、歴史的や場所の特色があるのではっきり示すべき。⇒第2章で示すのであれば2章へ	・「本計画の背景と目的」においては、設置条例に記載された施設の目的を引用して整理しています。 ・ご指摘いただいた特色等を踏まえて、第2章において「新しい村周辺のなりたち」として追加します。	検討委員会委員
6		2	・15行目「～利用者・管理者の高齢化～」とあるが、管理者の高齢化とはどの者を指すのか。指定管理者の高齢化とはならないのではないか。	・指定管理者（株式会社新しい村）のメンバーに対しても継承の課題ありという声が多くあったため記載していたが、ご指摘を踏まえて管理者の表現を削除しています。	町
7	2. 計画の位置づけ	3	・最終行「・・・個別施設計画としても整理します」について、掲載が必要な項目について企画財政課と調整をお願いします。なお、個別施設計画については、令和4年度中に各課共通の書式にて、計画の作成を依頼する予定である。（具体的な更新計画については今後作成予定）	・企画財政課と調整のうえ、個別施設計画として整理します。	町
8	3. 魅力アップの考え方	4	・直営時代から第3期指定管理期間について、魅力が減衰しているグラフが表示されているが、これまで各種経営改善を行い、来客数、売上を伸ばしてきて、議会等でも改善していると説明をしてきている。経営改善を行ったが魅力は下がっているというのでは整合が図れないのではないか。	・ご指摘を踏まえて、頭打ちの状態からの更なる魅力アップを図る形で再整理しています。	町
9		4, 58	・環境面では、ホツツケや雑木のある田んぼを含め生物多様性の場所として、継続して維持管理していけば、10、20年後は価値が上がり、魅力アップするはずである。但し、ホツツケの沼部分は泥が堆積してホツツケとしての景観を損ねている。また、雑木は、高くなりすぎて枯れ木もあり、高所剪定を含めて検討していく必要があり、投資が必要。次章以下で、他市町にない新しい村の景観・環境を維持、保全していく面でも検討が必要ではないか。	・農のあるまちづくりの活性化を魅力アップの最大の目的として捉えています。その一要素として景観・環境は重要なものと認識し、「第5章 1-2 既存の自然環境への敬意と配慮」において考え方を整理しています。具体的な樹木管理上の留意事項等に関しては、株式会社新しい村の方にご意見として共有します。	検討委員会委員

No	該当箇所	頁	ご意見	対応方針	意見元	
第2章 新しい村の現状と課題						
10	1. 新しい村の概要	1-1(4)	7, 8	・本町の土地利用現状図と都市計画図で農地が減少していることがわかるか。	・農地の減少を示すためではなく、周辺の土地利用状況及び市街化調整区域に立地していることを示すために掲載しています。	町
11	2. 上位計画の位置づけと施設が担う役割	2-1(3)	14	・「市街化区域に点在する農地・緑地など・・・」について、新しい村は市街化調整区域のため、筋が違うのではないか。	・都市計画マスタープランP45「(1) 地域資源の適正利用」の記載を全て引用しています。そのため、市街化区域に関する内容も含まれています。	検討委員会委員
12		2-1(4)	15	・水土木製コースターレジーナが再始動することから、レジーナを利用したマーケティング(コースターからの風景、宣伝など)も検討の余地があるのではないか。	・東武動物公園との連携していく方針を示しており、具体的なアクションについては今後の実施に向けた検討の際に参考にさせていただきます。	町
13	3. 新しい村に期待されること	3-1(1)~(3)	18-24	・分析文で、幾つか円グラフから読み取れない記述がいくつかある。数値が記述されている以上、関連のグラフを載せるべきではないか。もし載せられないのであれば、その他主な意見として載せるべき。	・ご指摘を踏まえて、関連するグラフを追加しています。	町
14		共通	26-34	・図30は文字が小さくて分かりにくい。 ※全体的に、グラフは他の資料から貼り付けた感が露骨で見にくい。	・図30について拡大するとともにボケ等がないように調整しました。 ・作成可能なものは作成し直し、デザインを統一しました。	町
15	4. 農や観光を取巻く社会動向	4-4	35	・関係する目標を全て挙げているようですが、何の対応もされていない。新しい村の魅力アップとしては、次の2点について取り組んでいけばよいと考えるがどうか。その中にはすでに取り組んでいる目標もある。(市民参加の検討委員会も含まれる) 1) 15. 陸の豊かさを守ろう ターゲット 15.4 2030年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するために生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。 ターゲット 15.5 自然生態系の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020年までに絶滅危惧を保護し、又絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。(まだ達成されていません) 2) 17. パートナーシップで目標を達成しよう ターゲット 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推奨する。	・ご指摘を踏まえて「パートナーシップで目標を達成しよう」を追加しています。 ・該当ページでは、本計画で示すアクションがSDGsのどのゴールと関係性があるかを示すことを意図しています。そのため、見出しを「SDGsとの関係性」に修正します。	検討委員会委員
第3章 魅力アップに向けた方針						
16	3. デザインコードの考え方	3-1	42	・P15「計画的保全による長寿命化の推進」とうたわれており、「デザインコードの考え方」の冒頭では、「建築物の建て替えや更新時には・・・」となっているので、「対応方針の優先順位の考え方」と順番を入れ替えたほうがいいのではないか。	・「デザインコードの考え方」については、建築物の建替えや更新のタイミングのみではなく、例えば施設内装やデッキ上のチェアなどの交換時にも押さえるべき考え方として整理しています。そのため、上記の考え方が伝わるように表現を修正します。	検討委員会委員
17	4. 対応方針の優先順位の考え方	4-2	43	・本文中「短期的集中的」とありますが、軽微な修繕は、継続的に発生するので「継続的」にがよい。	・施設の建替えなど大きな投資が必要な対策に対して、すぐに手を付けられる軽微な修繕はすぐに行っていく姿勢を示すことを意図していました。一方で継続的に発生するものであるというご意見もその通りであることから、以下のように修正します。 「指定管理者と連携しながら特に課題となっている部分への対応は短期的集中的に行いつつ、その後も継続的に修繕対応を実施することで、施設の利便性や快適性の向上を図ります。」	町

No	該当箇所	頁	ご意見	対応方針	意見元		
第4章 機能強化の考え方							
18	2. 機能別の強化方針と具体的なアクション	農で働く	47	・Action⑤その他農業関連施設の増設検討のところに宮代町特産の果樹（ぶどう）のことを具体的に記入すべきではないか。（作業受託等を含めて、またP43のAction③体験農園（果樹園）の拡張とは別建てで）	・設備の前に、人材確保が課題であると認識しています。そのため、ご指摘を踏まえて「Action②」に以下の文言を追加します。 「本町の特産であるぶどう等の果樹栽培を促進するために、農業技術の継承や人材の確保、育成プログラム等の実施を検討します。」	検討委員会委員	
19		農を趣味にする	48, 49	・市民農園の位置づけは本気で取り組むとなっているが、現在の市民農園は、あくまでも趣味や息抜きの方もおり、ライト層とコア層に分かれるかと思う。そのため、今いる方と区別をつけるために区割りを増設する際は、結の里としてではなく別の名前をもった市民農園を作るほうが良いのではないか。	・ご指摘を踏まえて、「基本的な考え方」の図において、結の里は気軽に楽しむに分類するとともに、「機能別の強化方針と具体的なアクション」以後の今後の考え方を示す際には、「市民農園（ライト層向け）」、「市民農園（コア層向け）」に区分して整理します。	検討委員会委員	
20		農を買う	51, 52	・仕入れ品よりも地場産品をより有利に、より多く販売できるような仕組みやアイデアをもっと盛り込むべき。販売手数料を安くする、クーポン券をつける、東武動物公園日帰りツアー料金に地場産農産物セット販売込みにする等、個々の小さなアイデアは、大きな枠組みの魅力アッププランに記載する必要はないかもしれないが、地場産をより優遇する文言を盛り込んでほしい。	・地域として農産業が活性化することが魅力アップの目的となります。そのため、地場産品を安売りするというよりは、「商品ポップ・メニューのデザイン見直し」や「売場レイアウトの再編」等を通じて、地場産品を目立たせていきたいと考えています。	検討委員会委員	
21			52	・森の市場「結」を拡大するという明確な記載がないように感じる。バックヤードや店舗の拡大により、生産者が朝の納品時にもっと多く納品できるようになれば、午後からの野菜不足を仕入れに頼らず生産者の野菜で賄えるようになり、新しい村の売り上げにも生産者の売り上げにもつながると思う。また、毎月届く新しい村からのお知らせと一緒に前月不足した品目やお客様の要望等売場の声を知らせれば、各生産者は翌月の販売の仕方や翌年の作付けの参考にして、地場産野菜の出荷量が増加するのではないか。	・ご指摘を踏まえて、「森の市場「結」の改修」及び第5章の森の市場「結」の「基本的な考え方」において、バックヤードや販売スペースの拡大を検討する方針を記載します。	検討委員会委員	
22			農に滞在する	53	・Action④宿泊機能の導入検討について、これまでの検討委員会で懐疑的な意見が多かったので、新たに施設を整備することよりも、周辺の農家住宅の空き家がいくつかあれば、それらを面的に活用して、宿泊機能を付加するようすべきかと思う。並木委員（農工房奈味）が先駆的に宿泊型農業体験施設をオープンし、観光農業を中心とした6次産業化を進めることを計画しているようなので、こうした動きを面的に活用してはどうか。	・ご指摘を踏まえて、新しい村以外での対応可能性（空き家活用や農家での農泊等）の検討について追記します。	検討委員会委員
23			地域連携・PR	54	・町内の回遊性を高める窓口機能とは、観光協会に類似する機能を備えるということか。	・回遊性を高める事が町としての一つの課題であると認識しています。そのため、町有施設において来訪者の多い新しい村において対策を講じられないかと考え、記載しています。具体的なレベル感は今後の検討によるかと思いますが、観光協会の一部機能を有する窓口の設置や観光案内を行うデジタルサイネージの設置などが想定されます。	町
24	54	・景観づくりの検討とは、西口わくわくロードの一環としての整備か。それとも、新しい村が単独で道路整備をするということか。分かりやすい表記が必要ではないか。		・新しい村として道路整備を行うことは想定しておりません。ご指摘にある「西口わくわくロード」などの町事業と連携した、連続的な景観整備を行うことを想定しています。ご指摘を踏まえて、町事業との連携等の表現を追加します。	町		

No	該当箇所	頁	ご意見	対応方針	意見元	
第6章 事業手法の検討						
25	1. 各方策の役割分担	1-2	66	・【機能×主体別の期待される役割の整理】と整理されているが、4者のトライアングルを主体としてわかりやすく図式化できないか。参考に別紙を添付する。	・いただいた資料を参考に、図化したものを追加します。	検討委員会委員
26			67	・新しい村の役割の再編とは、どのような内容か？管理は株式会社新しい村かと思うが内容によっては町の役割としたほうがよいかもしれない。	・市民農園区画の再編は、区画規模等を多様化することを想定しています。ご指摘の通り町としても行うべき部分があると考えますので、指定管理者と町が連携しながら進めていくように、役割を整理します。	検討委員会委員
27			67	・「農を趣味にする」、「農を買う」にも地域住民/地域団体が役割を担うものがあるのではないか。	・ご指摘を踏まえて、農を趣味にするに「各種講座等の実施」、農を買うに「プライベートブランドの開発にあたっての連携」の記載を追加します。	検討委員会委員
28	2. 魅力アップに向けた事業スキームの考え方	2-2	68	・このプランは、「農業公園新しい村」という施設を指定管理者制度による運営を前提として作成されているが、一部、指定管理業務から切り離して、農業法人としての株式会社新しい村の収益事業とする、または、後段で提案している事業手法（PFI、コンセッション）を検討するなどの明記は必要ないか。	・昨年の経営会議において、「指定管理者制度」もしくは「指定管理者制度に加え定期借地権設定を用いた貸付」の2つの事業手法に方針として絞った経緯があります。そのため、「新しい村で確保すべき機能に応じて想定される事業手法」において「PFI、コンセッション」の表現は削除します。	町
第8章 事業スケジュール						
29	1. 計画期間		80	・10年が経過した段階で見直しとあるが、ルールや計画は、その時代に合わせ、常に更新、変更されるべきであり、最新の情報とともに、時代やニーズに乗り遅れない、臨機応変な対応をお願いしたい。	・目安として、概ね10年と記載していますが、ご指摘を踏まえて、臨機応変に対応していく方針を追記します。	検討委員会委員
30	2. 事業スケジュール		81	・④⑤共に長期のスケジュールとなっているが、⑤については、短期のスケジュールにしたほうが良い。P72農を体験する①が短期から長期になっているので、同じ考えでよいと思う。特にP73 ⑤については限られた予算でもできると思うので、早めに取り組めるのではないかと。また、滞在宿泊機能について、会議前半ではよく議論されていたと思うが、前回の会議ではあまり取り上げられなかったようで残念である。利用者側、運営者側ともにニーズはあると思うので、短期スケジュールに入れてやれる所からやるのでよいと思う。	・「⑤滞在・宿泊案内窓口の設置検討」については、機能が重複する「②観光窓口機能の設置検討」にまとめて整理します。その上で短期からの取組として整理します。 ・「④宿泊機能の導入」については、「①芝生広場のキャンプサイト利用の実証実験」を踏まえて行うことを想定し、④を中期から、①を短期からの取組として整理します。	検討委員会委員
31			79, 80	・各アクションのスケジュールに限っているが、主体（誰が）を明確にすることも考えられるのではないかと。それとも、すべて町が実施主体ということか。想定でも構わないので、町、指定管理者、民間などといった位置づけ（役割分担）の明確化はできないか。この表に入れ込むか、第4章で位置付けるかは別にしても、役割の明確化は重要である。	・全てのアクションについて具体的な内容が決まっていないことから、役割分担を現時点で示すことは難しいと考えます。一方で、役割分担を示すことが重要とも認識していますので、第6章において「機能×主体別の期待される役割」として整理しています。	町
32	3. 施設修繕・更新の概算事業費	3-1	81	・何か所か「修繕費」という表現が見られる一方で、その他に「大規模修繕費」という表現が見られる。明確な違いがないのであれば、統一すべきではないか。	・建築物のライフサイクル上必要になる、大きな投資を要する修繕を「大規模修繕」、日常的に行う軽微な修繕を「修繕」として使い分けています。	町